



重りの入ったリュックを背負いゴールを目指す選手

秋田わか杉国体を目指して
第57回県兼第33回東北総体秋田県予選登山競技
 第57回県民体育大会兼第33回東北総合体育大会秋田県予選登山競技が6月24・25日に森吉山と秋田市八橋運動公園クライミングウォールを会場に行われ、少年男子、女子合わせて14チームが参加して東北総合体育大会への出場権をかけて競い合いました。
 縦走競技は、平成19年に開催される秋田わか杉国体と同じ森吉スキー場のコースを使用して行われ、参加した高校生39人は、急な勾配のコースに苦しい表情を浮かべながらも一生懸命ゴールを目指していました。
 少年男子は、大曲高校Aが、少年女子は、大曲高校Gがそれぞれ優勝しました。



各分団とも日ごろの訓練の成果を発揮（鷹巣会場）

日ごろの訓練の成果を発揮
北秋田市消防団消防訓練大会
 北秋田市消防団の鷹巣支団と阿仁支団の消防訓練大会が鷹巣橋付近の米代川右岸、阿仁河川公園で7月2日に行われ、団員らは有事に備えた日ごろの訓練の成果を発揮しました。
 この大会は、団員の消防訓練礼式、消防操法を習熟させるとともに、消防力の強化を図ることを目的に開かれたものです。
 鷹巣支団の訓練大会には280人、阿仁支団には114人が参加して、各支団とも自動車ポンプ操法と小型ポンプ操法、規律訓練の3部門に分団の代表が臨み、ホースの結合、揚水、放水などを真剣な表情で取り組んでいました。

初夏を彩る阿仁の花しょうぶ祭りが、7月2日にオープンし、紫や白、ピンクなど色とりどりに咲き揃った130種100万本の花菖蒲が県内外から訪れた人々を魅了しました。
 初日は、雨にみまわれましたがしょうぶ園入り口では市観光協会副会長など関係者によってテープカットが行われ、市内外から家族連れなど沢山の人が訪れ、ようやく咲き始めた早生種の紫色の（古都の夕日）桃色の（猿踊）白の（富士川）など色とりどりの花を楽しみました。
 期間中は土・日を中心に歌謡ショーやお笑いショーなどのイベントが繰り広げられ今年も大勢の入場者で賑わいを見せてくれました。

多くの入場者を魅了

阿仁の花しょうぶ祭り



色彩豊かな花が来場者を迎える菖蒲園

カラス対策で黄色いごみ袋を
ごみを活かす合川地区市民会議
 ごみを活かす合川地区市民会議の総会が6月29日、合川支所で開催され、会員や関係者など約80人が出席し、ごみの減量化と適正処理に向けた啓発活動や学習会など、今年度の活動について話し合いました。
 総会では、伊東会長が「みなさんから活発な意見を頂き、充実した活動を進めたい」とあいさつ。
 平成4年に発足した同会は、古紙リサイクルや紙ひもの利用推進、ごみの減量化と適正処理に向けた啓発活動など、ごみ問題について積極的に活動している団体です。今年度は、例年行っている活動の他、カラス対策で黄色いごみ袋の試験調査や、子どもたちからごみの標語を募集し看板を作成する予定です。



ごみ減量化と適正処理について話し合われた総会



景勝地再生へ作業するボランティア

地元有志が環境整備
観光秋田30景露熊山峡再生
 「観光秋田30景露熊山峡再生」のための環境整備が7月5、6日の2日間行われ、ボランティア13名が遊歩道への手摺りの取り付けや草刈作業を行いました。
 阿仁荒瀬露熊山峡は、昭和27年に観光秋田30景の1つに指定された景勝地で、新緑や紅葉の時期には沢山の人が訪れ賑わっていました。しかし、ここ数年は手入れがされていない状況であったため、斉藤伸一さん、吉川将祥さんらが発起人となって自分たちが青春時代遠足やハイキングに訪れた頃に魅了せようとボランティアを募り行われたものです。
 溪谷の清流には、マタギ岩、獅子岩、モツケ岩、鍋岩などが美しさを競って立っており、「溪谷の美しさを大勢の人たちに知ってもらいたい」と、景勝地の再生に意欲を燃やしながら作業に汗を流しました。



楽しい講座となったフラダンス教室

Shall we フラダンス?
Huaを試さナイト
 国際交流員のアンジェラ・敏子・トンブソンさんが講師の森吉公民館講座「Huaを試さナイト」が6月21日に森吉コミュニティセンターで行われました。
 この講座は、フラダンスに興味があるけど、仕事などの関係で、昼の教室に参加できない人を対象に開かれたもので、今回を含めて3回の短期講座で「カホロ」という基本のステップなどを学びます。
 参加した19人の受講者は、手の動きなどで心や海、波の形や香りを表現することを教わりながら、繰り返し練習し、最初はぎこちなかった踊りも音楽に合わせて踊る頃には笑顔でリズムよく踊っていました。